

[専門教育科目/看護の展開/在宅看護学]

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
在宅看護援助論Ⅱ	NSP33_008	必修	1	3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
山崎 洋子 他	301	y.yamazaki	講義終了後 又は 水曜日 12:10～13:00		
授業の目的・概要	在宅看護に特徴的な看護過程が実施できる基礎的な知識と技術を修得する。授業内容の解説や課題の進め方は提示された紙面講義資料を参考に。その後、模擬事例に対する看護過程を展開し、対象者の把握から看護の実施までを紙面演習を通して体験する。授業ごとに提出する振り返りシート(リアクションペーパー)やメールにて教員への質疑を行い教員からの助言を受け在宅看護に関する理解を深めていく。				
学習上の助言	療養者や家族のその人らしい生活ができるように、看護の力で何ができるか。積極的に紙面演習に取り組むことで、看護実践への期待を膨らませて欲しい。				
教科書	系統看護学講座 在宅看護論(第5版)/著:河原加代子 他/医学書院/2017				
参考書	強みと弱みからみた在宅看護過程+総合的機能関連図/編:河野あゆみ/医学書院/2018				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	在宅看護に興味を持ち、主体的に課題学習に取り組むことができる		HSU(1)(2)、NS(1)(5)		
②	疾患や障害による療養者と家族への身体・心理・社会的影響をアセスメントできる		HSU(2)～(5)、NS(2)～(4)		
③	療養者と家族が安心・安全に療養を継続するための看護計画が立案できる		HSU(2)～(5)、NS(2)～(4)		
④	立案した看護計画を振り返り、在宅看護過程の展開を評価することができる		HSU(2)～(5)、NS(2)～(4)		
⑤	地域における看護活動への興味を深め、臨地実習への意欲を高めることができる		HSU(6)、NS(5)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	在宅看護過程の展開方法①② フィードバック：課題返却・メールで実施	印刷教材等での授業	在宅看護過程の特徴 ワークシート課題を提出	1	
2	意見交換の機会：授業時間内に実施		在宅看護過程の展開方法 ワークシート課題を提出		
3	在宅看護過程の展開方法③④ フィードバック：課題返却・メールで実施	印刷教材等での授業	事例を用いた思考練習 ワークシート課題を提出	1	
4	意見交換の機会：授業時間内に実施		在宅看護過程展開方法に関する紙面講義資料を読み、課題学習を振り返り 振り返りシート提出	1	
5	在宅看護過程の展開方法⑤⑥ フィードバック：課題返却・メールで実施	印刷教材等での授業	在宅看護過程の展開 課題レポート作成	1	
6	意見交換の機会：授業時間内に実施		事例を用いた在宅看護過程の展開 課題レポート作成	1	
7	事例を用いた在宅看護過程演習①② 情報の整理とアセスメント	印刷教材等での授業	事例を用いた在宅看護過程の展開 疾患・治療の自己学習、情報の整理、アセスメント	1	
8	フィードバック：課題返却・メールで実施 意見交換の機会：授業時間内に実施		事例を用いた在宅看護過程の展開 関連図の作成 振り返りシート提出	1	
9	事例を用いた在宅看護過程演習③④ 看護課題の抽出、看護目標の設定	印刷教材等での授業	事例を用いた在宅看護過程の展開 関連図の作成 振り返りシート提出	1	
10	フィードバック：課題返却・メールで実施 意見交換の機会：授業時間内に実施		事例を用いた在宅看護過程の展開 看護計画立案・評価 フィードバック：課題返却・メールで実施 意見交換の機会：授業時間内に実施	1	
11	地域における看護活動を知る(外来看護) フィードバック：課題返却・メールで実施	印刷教材等での授業	外来看護に関する紙面講義資料を読み、ワークシート課題を提出	1	
12	意見交換の機会：授業時間内に実施		事例を用いた在宅看護過程演習(課題レポート作成)	1	
13	事例を用いた在宅看護過程演習(課題レポート作成)	印刷教材等での授業	事例を用いた在宅看護過程の展開 課題レポートに取り組み提出する	1	
14	フィードバック：課題返却・メールで実施 意見交換の機会：授業時間内に実施		在宅療養者や家族が生活する地域を知る方法を学ぶ Teamsの活用	1	
15	在宅療養者や家族が生活する地域を知る方法を学ぶ Teamsの活用	同時双方向型授業	授業の学びをまとめる 振り返りシートを提出	1	
試	課題レポートの内容をもとに評価する				

[専門教育科目/看護の展開/在宅看護学]

総合評価割合(%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	70	0	10	20	100
総合力指標	知識・技術力	0	20	0	0	0	20
	思考・推論・創造する力	0	20	0	5	0	25
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	5	15
	コミュニケーション力	0	0	0	0	5	5
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	5	10	25
		0	10	0	0	0	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
レポート	①	✓	課題レポートにおいて、指定した用紙に従い事例の在宅看護過程を展開しまとめる。				課題提出後、必要時個別にオンラインにて面談する
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
ポートフォリオ	①		自己学習や参考書および配布資料を整理保管し、見直すことで、新たな課題学習にも応用させることを意識する。資料等の整理状況を自己評価し振り返りシートで報告する。				振り返りシートやレポート内容により、必要があればオンラインで面談し、資料の提示を求める
	②						
	③						
	④	✓					
	⑤	✓					
その他	①	✓	提示された課題、紙面演習への参加度や関心度を振り返りシートに記入し提出する。指示された期日内の提出により授業出席と認める。理由のない提出の遅れは学修取り組み姿勢・意欲の不足と捉え、評価に影響する				必要時、個別にメール助言したり、オンラインにて面談を行う
	②						
	③						
	④						
	⑤						
備 考							
担当教員：◎山崎 洋子、渡邊 美樹							
教員の実務経験 ：保健所・市町村における行政保健師活動および訪問看護活動、さらに大学院における医療連携室での退院調整や療養生活相談等の経験を有する。 実践的授業の内容 ：実務経験を元に、事例を用いた在宅看護過程の展開演習を組み入れ、実際の在宅療養場面で求められる看護ケアの知識と技術の習得を目指す。							
1～14回の授業は印刷教材等での授業を行い、15回はTeamsを使った同時双方向型授業を行います。15回目の授業時は、通信容量が無制限のWifi環境を推奨します。今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更が生じる可能性があります。							